

## B-34 被服の衛生加工に関する研究 (第2報)

### —衛生加工紙おむつの抗菌効果について—

東京家政学院短大 ○吉田 玲子  
関東通信病院 稲福 盛栄

1. 衛生加工された紙おむつ及びおむつの上に置いて使用される衛生加工紙ナプキンの抗菌効果を、市販の4社製品について比較検討した。

2. 実験に供された材料は、A社(クロールヘキシジン加工, 紙ナプキン) B社(ニトロフラン加工, 紙おむつ, 紙ナプキン) C社(ハイアミン加工, 紙おむつ) D社(サニタイズ加工, 紙おむつ)であり、これら製品の黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus* 209 P) 並びに大腸菌 (*Escherichia coli* NIHJ) に対する抗菌効果を、前回報告の術式に準じて測定した。また、それら加工材料に含まれている4薬剤について、上記2種の菌に対する最小発育阻止濃度 (MIC値) を測定し、上記被検材料の抗菌効果を加工薬剤の面から検討した。

3. A, B社の製品は、両菌に対して抗菌効果を示し C, D社製品は、黄色ブドウ球菌のみに有効で、大腸菌には無効であった。また、クロールヘキシジン、ニトロフラン、ハイアミン、サニタイズの黄色ブドウ球菌並びに大腸菌に対するMIC値は、それぞれ、0.16  $\gamma$ , 0.32  $\gamma$ , 0.32  $\gamma$ , 0.32  $\gamma$  並びに、0.32  $\gamma$ , 1.25  $\gamma$ , 8.5  $\gamma$ , 9.5  $\gamma$  であった。以上の結果から、各社製品の抗菌効果は、それぞれに表示された加工薬剤の抗菌力 (MIC値) により左右されることが明らかにされた。